

# 令和3年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和2年度事務事業 ]

一般会計		事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名		フッ素塗布事業		事業番号	
				014-013	
担当部署名		子ども青少年	局	子ども青少年育成	部
				子ども育成	
				課	

### I. 基本情報

#### 事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.2	
		有	取組	妊娠期からの保健指導と乳幼児健診の実施				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

#### 事業の概要

2	関連計画	堺市歯科口腔保健推進計画		
3	事業開始年度	平成 15 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	母子保健法、健康増進法 歯科口腔保健の推進に関する法律 堺市歯科口腔保健推進条例		
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、保健センター		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	1歳6か月児から4歳未満の子ども：約9,500人		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	乳幼児期のむし歯の罹患率の減少と将来的な口腔管理への意識づけを行い、全身の健康増進へとつなげる。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	1歳6か月児健康診査および子どもの歯相談室で、希望者に対して、歯科衛生士がフッ素塗布を行う（対象年齢内1回のみ）。 また、むし歯のハイリスクフォローとして1歳6か月児健康診査時に実施するむし歯菌の活動性検査の結果、むし歯菌の活動性が高いと判断された子どもについては、2歳児の歯科相談時にフッ素塗布を行う。		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など			
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)			
10	公民連携・協働事業			

### II. 事業目的の達成状況

#### 事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度
11 3歳児でう蝕のない子どもの割合	%	目標値	90	90	90	90
		実績値	86	86		
		達成率	96%	95%		
当該指標を選定した理由		堺市歯科口腔保健推進計画の目標値（3歳児でう蝕のない子どもの割合）				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市歯科保健事業年報 目標値：堺市歯科口腔保健推進計画(3歳児)				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	
12 フッ素塗布経験者の割合	%	目標値	95	95	95	
		実績値	94	95		
		達成率	98%	100%		
当該指標を選定した理由		堺市歯科口腔保健推進計画の目標値（フッ素塗布を受けたことのある子どもの割合）				
目標値の設定根拠・算出方法		堺市歯科保健事業年報 目標値：堺市歯科口腔保健推進計画（3歳児）				

## 令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	フッ素塗布事業	事業番号	014-013
-------	---------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	949	949	918	837	897
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ( )				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	949	949	918	837	897
14 人件費 (b)	820	810	410	820	820
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,769	1,759	1,328	1,657	1,717

#### 事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	需用費 (薬剤等)	R3	予算	897	897	R3	予算		
		R2	決算			R2	決算		
	R3	予算			R3	予算			
	R2	決算			R2	決算			
	R3	予算			R3	予算			
	R2	決算			R2	決算			
	R3	予算			R3	予算			
	R2	決算			R2	決算			
R3	予算			R3	予算				

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① フッ素塗布者数	人	7,354	7,640
② 上記①にかかる年間経費	千円	1,759	1,657
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	239	217
備考 (算出についての説明等)	1歳6か月児健康診査・2歳児歯科フォロー・子どもの歯相談室でのフッ素塗布者数		

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18	<p>フッ素塗布を経験している者の割合は概ね目標値を達成した。3歳児でう蝕のない者の割合は年々減少していたが、令和2年度においてはコロナ禍で生活習慣や生活リズムの変化などから、う蝕罹患率が若干増加したように推測される。う蝕予防に効果的なフッ素塗布事業を今後も継続して行っていくことでう蝕の罹患率の軽減につながる。乳幼児期のう蝕治療は困難であることから、乳幼児健診等で予防対策としてフッ素塗布を行うことは効率的・効果的で、児や保護者の負担軽減にもつながっていると考える。</p>
----	--

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	<p>フッ素塗布事業は乳幼児期のう蝕予防対策として適切な時期に歯科検診、保健指導、フッ素塗布を実施することでう蝕罹患の軽減を図った。また、継続塗布の啓発を行い、かかりつけ歯科医での定期検診を促し、う蝕の予防から全身への健康へとつなげることができている。</p>
----	--